



↓ 出土した本丸側の石垣、写真左は石仏



まちの話題をお知らせします。

山城の全容が徐々に明らかに 国吉城址から石垣が出土

昨年7月から第11次調査を進めていた国吉城址史跡(佐柿)で、石垣遺構等が出土し、12月23日に現地説明会が開催されました。石垣は、本丸北西堀切部の両斜面から出土し、高さは本丸側が1.5～1.7メートル、その対面のII郭側が1メートル強で、1580年代に築かれたものと考えられます。また、幅約4メートルの堀切を渡るために築いた橋の礎石や、石垣用に使われたと思われる石仏や墓石等もあわせて出土しました。



↑ 現地説明会 (手前がII郭側の石垣)

↓ 破損した屋根瓦を取り替える組合員



↓ 板の上の鯖をさばく若い衆(左・加藤滉教さん、右・永井将平さん)



降雪に備えて 屋根瓦無料診断(若狭瓦工事組合)

降雪時期を前にした年末に、若狭瓦工事組合による屋根瓦の無料診断が行われました。この奉仕作業は、一人暮らしの高齢者を対象に、普段自分ではできない屋根瓦の点検や修繕を行うもので、毎年嶺南地区を対象に実施しています。昨年は美浜町で実施され、49人の高齢者から依頼を受けた組合員13人が、町内各所で作業にあたりました。屋根瓦の交換を依頼した高齢者は、「春先に吹いた強風で瓦が痛み心配していましたが、作業のおかげでこれからの降雪時期を安心して迎えられます。」と喜んでいました。

今年1年の大漁を祈願 板の上の儀

1月1日に、日向の稲荷神社で「板の上の儀」が行われました。この行事は、日向区に江戸時代から伝わる神事で、その年の海上安全と豊漁を祈願するために毎年元旦に行われています。神事では、区長をはじめ約50人の参列者が見守る中、裃姿の「若い衆」と呼ばれる児童2人が登場。若い衆は、参列者にお酒をふるまった後、今年の恵方である南南東を向き、「大漁、大漁、大漁」と威勢よく声を上げ、まな板の上の魚を見事にさばきました。

↓耳川左岸で行われた一斉放水



火災のない町をめざして 美浜消防団出初式

1月10日に、美浜消防団出初式が美浜消防署消防訓練場等で行われました。

式では、最初に耳川左岸で一斉放水が行われ、全分団16台の消防車により耳川に向かって色とりどりの水が放水されました。

その後、消防団や防犯隊による分列行進が行われ、制服姿の142人の団員らが消防車を従え、町役場横の道路を行進しました。行進後には、消防署消防訓練場で観閲式が行われ、団員らが敦賀美方消防組合副管理者である山口町長の観閲を受けました。



↑消防団・防犯隊による分列行進



↑タグラグビーを楽しむ子どもたち

スポーツを気軽に楽しもう

ニュースポーツフェスティバル

12月25日に、総合体育館でニュースポーツフェスティバルが開催されました。

ニュースポーツとは、競技性を重視せず、子どもから高齢者まで誰もが気軽に楽しめるスポーツのことをいいます。

当日会場では、ユニカールやトリプルソフトバレー、タグラグビー、スティックリング等が行われ、約50人の参加者は、友人や家族と一緒に和気あいあいとスポーツを楽しんでいました。

講座の成果を披露

リメイクきものファッションショー

12月18日に、若狭国吉城歴史資料館で「リメイクきものファッションショー」が開催されました。

ファッションショーは、着られなくなった着物を洋服に作り直す「リメイクきもの」という生涯学習講座で制作した作品を発表するために開かれ、当日は13人の講座生等がモデルとなり、自分たちが作った洋服を披露しました。

会場では、着物から生まれ変わったスカートやコート、ベスト等を着たモデルたちが、音楽に合わせ華やかなステージを繰り広げ、来場した観客の目を楽しませていました。



↑観客の前でポーズをとり、作品を披露する講座生

選ばれし中学生96人、久々子ボートコースに集結

3月26日から28日にかけて、第6回全国中学校選抜ボート大会を開催します。

大会1日目はシングルスカル予選、2日目はシングルスカル準決勝、決勝、最終日にはダブルスカルとクォドルプルで交流レースを行います。

全国各地から選ばれた中学生96人の力溢れる競漕に、たくさんのご声援をお願いします。



期 日 3月26日(土) ・13:00～ 開会式
 ・14:00～ シングルスカルレース(予選)
 3月27日(日) ・ 8:00～ シングルスカルレース(準決勝・決勝レース)
 3月28日(月) ・ 8:30～ 交流レース(ダブルスカル・クォドルプル)

会 場 福井県立久々子湖ボートコース

種別・種目

種別	種目	距離
男・女	シングルスカル	1,000m

※本大会は、全国中学校マシローイング大会での上位入賞者及び、全国中学校ボート連盟各地区ブロック長の推薦を受けた全国各地の中学生男女96人が参加します。



□ 美浜町の生涯学習について

● 「みはまのおじぞうさん」マップをご存じですか？

町内に多数あるお地蔵さんの中から、特に昔からいわれのあるお地蔵さんを中心に独自に絞り込み、A2版のカラーパンフレットで紹介しているのが「みはまのおじぞうさん」マップです。

(マップ表紙)



このマップでは、全33体のお地蔵さんのいわれ等を写真つきで紹介し、どこにそのお地蔵さんがあるのかを、裏面の地図に示しています。

これまでに、このマップを利用していろいろなことに取り組んでいます。昨年6月には、保健福祉センターはあとびあと連携し「ハートフルウォーク」で各地区のお地蔵さんを巡ったり、せせらぎ保育園のお散歩でも利用されています。

町民の皆さんでも、身近に数多くある素晴らしいお地蔵さんの場所やいわれ等、知らないことがたくさんあるのではないのでしょうか。このマップを使って、今まで知らなかった地元美浜の文化を再発見してください。

また、今後このマップを使った「お地蔵さん巡り講座(仮)」を計画していますので、その際はぜひご参加ください。

マップをご希望の方は公民館事務室までご連絡ください。



↑お地蔵さんの位置と
いわれを紹介しています



↑宮代のお地蔵さん(ハートフルウォークにて)

新着図書



● 文学

書籍名	著者名
モルフェウスの領域	海堂 尊
エルニーニョ	中島 京子
KAGEROU	齋藤 智裕
PRIDE	石田 衣良
アンダスタンド・メイビー 上・下	島本 理生
お順 上・下	諸田 玲子
つるかめ助産院	小川 糸
そうはいかない	佐野 洋子
錨を上げよ 上・下	百田 尚樹
最初の哲学者	柳 広司
どんぐり姉妹	よしもと ばなな
お江の方と春日局	植松 三十里
パリ 上・下	エミール・ゾラ
もういちど村上春樹にご用心	内田 樹
北朝鮮に嫁いで四十年	斉藤 博子
老年の品格	三浦 朱門
美の遍歴	白州 正子

● 自然科学・地学

書籍名	著者名
やさしくわかる数学のはなし77	岡部 恒治
読んでなっとく地球の疑問	左巻 健男

● 人生訓・宗教

書籍名	著者名
35歳からのお金のリアル	人生戦略会議
立松和平仏教対談集	立松 和平

● 歴史・文化

書籍名	著者名
江史跡紀行	大和田 哲男
〈戦争の世紀〉を超えて	吉武 輝子
「気」の日本人	立川 昭二

● 生活・料理

書籍名	著者名
昭和の家事	小泉 和子
古くて新しい!家計簿のすすめ	講談社
体の芯の冷えをとる!ウルトラしょうが美味レシピ	幸井 俊高

図書館情報

お問い合わせ先・町立図書館 TEL32-0083

自由想像し、

“おはなし”の世界を広げよう

～ 子どもから大人まで楽しめる “ストーリーテリング” ～

「ストーリーテリング」とは、物語や昔話等を語って聞かせることで、素話や語りともいわれています。

「絵本の読み聞かせ」が言葉のイメージとお話に調和した絵を楽しむものであるのに対し、「ストーリーテリング」は、じっくりと耳を傾け、1人ひとりが想像してお話を描いていけることが大きな楽しみになっています。「ストーリーテリング」は、個々の想像力を活かしておはなしの世界を広げることができるため、子どもから大人まで楽しむことができます。



3月には、「敦賀おはなし会」の皆さんをお招きし、ストーリーテリングのおはなし会を開催しますので、ぜひご参加ください。

※ 詳細は、3月号のイベント情報をご覧ください。

～ 休館のお知らせ ～

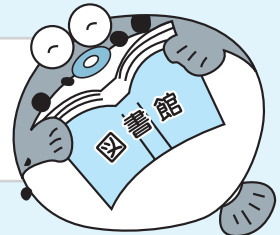
2月7日(月)から9日(水)までの3日間、蔵書整理のため図書館を休館します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

皆さんの心に残った本やおすすめの本を紹介するコーナー

(No.16)

わたしの一冊

角脇 康江さん(山上) の
「わたしの1冊」



『ヒコベエ』

藤原 正彦 講談社(2010年)

最近読んだ本の中で『ヒコベエ』がとてもよかった。本名はマサヒコだが、祖父の名前をつけたあだ名だ。終戦後からの子どものいきいきした遊びの中から世の中をみすえた生きざまにとっても共感を覚えた。

家族が支え合い、近隣の交流があった。共通していたのは、皆貧しかったが、皆幸せそうだったということである。読んでいるうちにヒコベエの父は新田次郎、母が藤原ていであることが分かった。この親にしてこの子ありという感じで、子どもも親をしっかり見つめていたのが印象的だった。

*このコーナーは、絵本の紹介や家族でのご参加も大歓迎です。皆さんのご参加をお待ちしています!

新着図書は、この他にも多数入荷しています。ぜひ、ご来館ください!